



世界における先端ビジネスへの挑戦

令和6年6月2日

黒田インターナショナルコンサルティング

黒田 毅

GAFAM やインテル、ロッキード、NAVIDIA などは、グローバル基準における世界先端の企業である。企業の挑戦はこれら製品基準と同等の自己企業製品を整備し市場への参加を模索できるのである。

これらは企業製品の開発と構築をそれらビジョンとともにいき、優れた技術基盤や生産環境を背後に求め、対等な企業製品を求めることで、それらと対等な企業製品における企業構築と市場への参加を提案できるのである。

これらはソフト理解と資産を基盤にした企業の飛躍の実現なのである。

企業製品における企業の比較は必ず存在するのである。これらは企業の明確な判断や決定における自己企業製品の育成と構築を行うことは必ず可能なのである。

これらは新たな企業の可能性への企業の選択と行動なのである。新たな企業ビジョンはこれらへの到達を可能とできるのである。

唯一これらは夢でないことは、企業が自己の現実を求めるとき、上記記載した世界の先端企業を無視して自己を行うことは不可能なのである。もしこれらの判断を持たないならば、唯一下請けにおける自己構築を行っているということなのである。

これらは他方においては時代の可能性とチャンスが存在し、企業の飛躍を企業製品において求めることは必ず可能なのである。

これらは上記企業群を否定することなく、自己においてそれらへの到達を行うことは、理解とソフト資産の育成において実現できるからなのである。

これらは時代と未来への正しい企業の挑戦なのである。ビジネスリーダーが卓越した自己ビジョンと理解を抱くならばこれらが可能なのである。

これら新しい現実は必ず企業の変化や革新を実現できるのである。